

【第8回 市立芦屋病院新改革プラン評価委員会資料】 各委員よりいただいたご意見・ご質問および回答

	意見・要望・質問等
坂本委員長	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県下も新型コロナウイルス感染症の拡大に、芦屋病院も一丸となって病床確保に奔走されましたことが資料で拝見できました。一般病床からコロナ病床への転換が難しい中小病院ですが、芦屋病院では市民病院としての本命だと考え取り組まれました。皆様、ご苦労様でした。 ・一方で病床稼働が落ち込み、平均在院日数も延長しています。一般病床の運営に大いに影響が出ていることと存じます。来年度は診療報酬改定の年度でもあり、新しい入院基準が出されようとしています。新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない現状では、新型コロナウイルス感染症の診療と一般診療の両立が叫ばれており診療体制の再考が余儀なくされるかもしれません。 ・全国的には医業収支では大幅な損益計上となりましたが、補助金で収支を合わせている病院がほとんどです。しかし、この補助金は一時的なものであり、真剣に医業収支を見ていかなければなりません。継続して収支改善に取り組んでいただきたいと思えます。 ・本年度は医師の強化に努められ部長級の医師が多く着任されています。是非とも新入職医師のフォローアップをしていただき、コストパフォーマンスを見ていただきたいと思えます。いよいよ始まる医師の働き方改革ですが、これが実効される2024年までには診療体制を整える必要があると思えます。アルバイトや当直医師の確保も難しくなるかもしれません。 ・手術件数はどこの病院も下落していますが、感染対策の為かと思えます。しかし徐々に手術件数が戻ってくる傾向にありますので、芦屋病院に置かれましても件数の確保に努力していただきたいと思えます。一方検診部門は堅調で昨年度の4-5月を除いて前年を上回る勢いです。感染拡大にびくともしないのが検診部門であると思われれます。貴院におかれましてもこの検診部門の拡大は収益確保に寄与するものと考えられます。 ・令和3年度においても新型コロナウイルス感染症は持続するものと考えられます。この感染症と共存する生き残りの対策が必要かと思えます。補助金も限度があると思えます。現在取り組める直近の対策としてはワクチン事業に積極的に進出することだと思えます。期間は限定的ですが市民病院の役割を果たすとともに僅かでも収益になると考えられます。

	意見・要望・質問等
佐藤委員	<p>【意見】 圏域の状況，近隣公立病院の統合・再編と今後の市立病院の方向性は難しいところがあります。しかし，市立病院を有するメリットは市民にあります。私の経験上，市立病院を持たない市の職員は医療についての知識が乏しい傾向があります。今回の新型コロナウイルス感染症における対応についても，感染対策等で病院の認定看護師が活躍されたと記載がありました。市職員として医療人材を抱えるメリットはあります。そのためには，中小規模の病院でいかに「急性期医療の機能を維持するか」というところが，課題になると思います。</p>
奥田委員	<p>【意見】 新型コロナウイルス感染症との厳しい戦いの中で，芦屋の医療を崩壊させてはならない，患者や芦屋市民の不安を払拭することが市民病院の役割，「芦屋市の中核医療機関として地域社会に貢献する」の基本理念に従い，安心して受診できるよう対応するとの力強いメッセージに感動します。新型コロナウイルス感染症対応の医療機関が非常に少ないことが問題かと思いますが，実際の医療現場でリスクを負いながら対応いただいている芦屋病院の関係者の皆様の活動に，心より感謝申し上げます。実際の新型コロナウイルス感染症入院医療機関の様々な工夫や対応が心に響きます。このような環境の中でも，リハビリテーション科では言語聴覚士を増員いただき，リハビリテーション提供件数を大幅に増加いただいた。看護師の増員，医師の充実，24時間 365 日の救急受け入れ体制の確保も非常に心強く感じています。新型コロナウイルス感染症専用病床へ転換いただいたことへの安心感等，コロナ禍と経営とのバランスを取りながらの改革の活動に御礼申し上げます。</p>
寺本委員	<p>【意見】 新聞で芦屋市の新型コロナウイルス感染者数を見て，大変なことになりそうな気がしてなりません。経営に関しては，新型コロナウイルス感染症の影響により，厳しさが増していると思いますが，頑張ってくださいようお願いいたします。</p>
田中委員	<p>【意見】 ポストコロナを見据えて，医療行政についての国の考え方，公立病院としての役割を踏まえつつ自院の体制の構築など方向性を見誤らないように備えていただくようお願いする。</p>

	意見・要望・質問等	質問への回答
御手洗委員	<p>【質問】</p> <p>・年間目標数値はどのようにして決めているのでしょうか（一般的な指標のようなものがあるかどうか）。また、プランとして最終年度の特定の数値を目指すのではなく、毎年目標数値を定める形にしていますが、それぞれの指標の最終目標のようなものはあるのでしょうか。</p>	<p>【回答】</p> <p>・年間目標数値は、新改革プラン策定時にこれまでの実績や現場の意見等を踏まえて設定しています。項目によっては収支計画の変更に伴い、目標数値が当初設定していた数値から変更した項目もありますが、どの項目も新改革プランの最終目標である「経常収支比率 100%」を達成するために必要なラインで設定しています。各指標の最終目標は、令和2年度の目標値であり、当院の診療機能や職員構成等を最大限発揮した場合に達成できる数値になります。</p>